



採血のみで簡単に検査できます

血液
オプション
検査



脳梗塞 心筋梗塞は ある日突然発症します

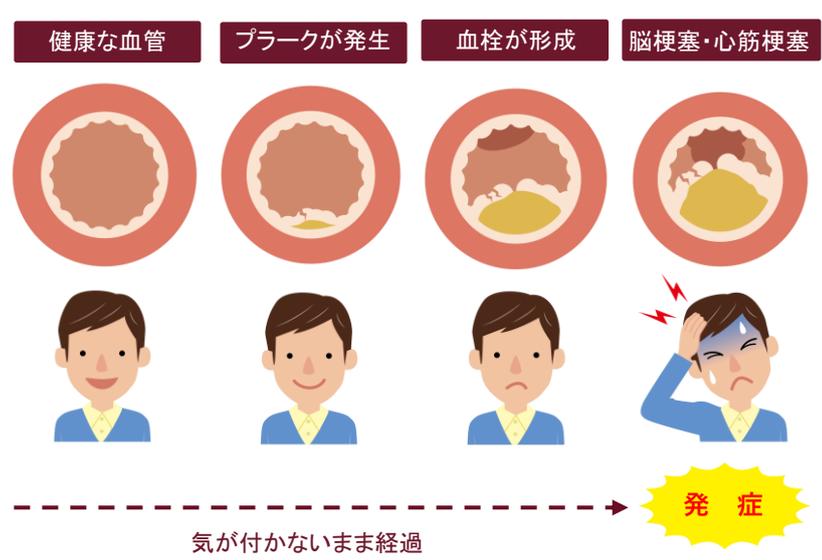
脳血管疾患・心疾患の年間死亡者数はがんと同水準。
「4人に1人」が動脈硬化を一因とする疾患で亡くなっています。

脳梗塞・心筋梗塞発症リスク検査

LOX-index[®] [ロックス・インデックス]

本当は怖い動脈硬化

動脈硬化は自覚症状がないまま進行し、ある日突然脳梗塞や心筋梗塞を発症します。



脳梗塞

寝たきりの原因にもなる疾患
「3人に1人」が死亡か後遺症に

心筋梗塞

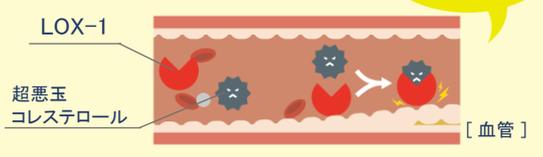
突然死の危険のある疾患
年間「約15万人」が発症

生活習慣を改善し、
早期に予防することが大切！

LOX-index[®] [ロックスインデックス] どうして将来リスクが分かるの？

採血のみの
簡単検査！

検査では血液中の酸化した超悪玉コレステロール [酸化変性LDL] と、それを血管の壁に取り込んで動脈硬化を進ませる [LOX-1] というたんぱく質を測定します。検査によって得た解析データを過去の臨床データと照らし合わせ、動脈硬化の進行から将来の脳梗塞や心筋梗塞の発症危険度(リスク)を予測いたします。



Q&A よくあるご質問

このような方におすすめします

- 肥満気味である
- 高血圧、脂質異常症、糖尿病などの持病がある
- 脂っこい食事や塩辛い食べ物をよく食べる
- たばこを吸っている、もしくは吸っていた
- 定期的な運動をしていない



Q. 検査に食事制限などはありますか？

制限はありません。
食前や食後に影響なく受検いただけます。

Q. 実際に脳梗塞になっているのかわかりますか？

いいえ。実際に脳梗塞になっているかどうかを見ているのではなく、将来的に脳梗塞や心筋梗塞になりやすい状態にあるかどうかを調べるための検査です。

Q. 検査は一度だけ受ければよいの？

採血した時点の体質を見るものとなりますので、年に一度程度、健診や人間ドックに併せてのご受検をおすすめします。

Q. 検査結果が悪かった場合は？

検査レポートのアドバイスに従って生活習慣などの見直しを行うことをお勧め致します。必要に応じて血管の硬さやつまり具合を調べる検査の受検もおすすめします。

◆検査結果サンプル（解説資料付き）

発症リスクのレベルを
分かりやすくグラフで記載。

過去の検査結果からの
推移も一覧できる解説付き。

生活習慣改善のための
アドバイス冊子つき

発症リスクのレベルを分かりやすくグラフで記載。LOX-index® 最新の心臓発症発症リスク検査報告書。患者様情報：タロウ様、性別 男性、年齢 47歳、検査日 2023/4/1、カルテID 123456789。検査結果：LOX-index® 現在の測定結果 736。あなたの結果と同等の方は、低リスク群に分類されます。リスクの分類について、検査結果は、個人差や検査条件などにより変動する可能性があります。検査結果が低いほど、心臓発症発症リスクが低くなる傾向があります。検査結果が低いほど、心臓発症発症リスクが低くなる傾向があります。検査結果が低いほど、心臓発症発症リスクが低くなる傾向があります。

過去の検査結果からの推移も一覧できる解説付き。sLOX-1 現在の測定結果 320。sLOX-1の値は前回と比べて減少しております。LAB 現在の測定結果 2.3。LABの値が前回と比べて減少しております。検査結果は、個人差や検査条件などにより変動する可能性があります。検査結果が低いほど、心臓発症発症リスクが低くなる傾向があります。検査結果が低いほど、心臓発症発症リスクが低くなる傾向があります。検査結果が低いほど、心臓発症発症リスクが低くなる傾向があります。

生活習慣改善のためのアドバイス冊子つき。報告書の見方。報告書は、最新の心臓発症発症リスク検査結果に基づいて作成されています。検査結果が低いほど、心臓発症発症リスクが低くなる傾向があります。検査結果が低いほど、心臓発症発症リスクが低くなる傾向があります。検査結果が低いほど、心臓発症発症リスクが低くなる傾向があります。

受検をご希望の方は、担当者にお申し付けください。

<検査に関する注意点>

- ※ 妊娠中は受検を控えてください。（妊娠中、出産後3ヶ月以内の方は検査数値が高く出る傾向があります。）
- ※ リウマチ、熱がある場合は、検査数値が高く出る可能性がございます。
- ※ 脂質異常症治療薬、抗血小板薬、降圧薬を服用されている方は、検査数値が低く出る可能性がございます。